


神奈川県で木造建てるなら
地元で育った木がいちばん

かながわ県産木材の ススメ



地元かながわの
気候・風土で育った
かながわ県産木材で
建物をつくろう

“かながわ県産木材” とは？

「かながわ県産木材」は神奈川県内で育った木のうち、主に杉檜材の原木を使って、神奈川県内の製材工場で生産された製材品全般を言います。

これらの木は、県民の飲料水を蓄えながら水害を防ぎ、光合成でCO₂を吸収して酸素を作り出し、環境破壊を防いでいます。

木たちに【SAVE! 気候変動、SUPPORT! 災害】の対応をしてもらうには、山の若さを保つ必要があります。

山の若さを保つには、木の一番の特徴である「循環型資源」として活用することです。

木の活用とは、住宅や集会場、図書室、食堂など、人が住み、集まり、語らうところに使うことですが、木を使うとどうして環境保全になるのか？

これは木が炭素（C）で造られているからです。木は空気中の炭素（主に炭酸ガス＝CO₂の状態で存在）を取り入れて炭酸化合物を合成して酸素を放出し、成長します。これをCO₂の固定と言います。

CO₂を固定化することは地球温暖化を防ぎ、水害から国を守り、飲み水を蓄え、私たちの健康を穏やかに守ります。

木の部屋というのは、鉄やコンクリートでできた部屋の何倍もみなさんの健康を大事にしてくれます。癒し効果、安らぎ効果、そしてウイルスを防ぐ抗菌効果もあります。

「かながわ県産木材」を分かりやすく見てもらえるように神奈川県木連では、床板・羽目板に加工し、そのうえ表面を少し硬くして木の年輪が分かるように見える化しました。

皆さんで手に取って観て、そして実感して、納得して使ってください。



明治大学黒川農場アカデミー棟（川崎市麻生区）



中野公園 パークセンター（海老名市中野）



木の子保育園（大和市下鶴間）



神奈川県自然環境保全センター（厚木市七沢）

木造施設

大学・公園・
保育園・県施設
など

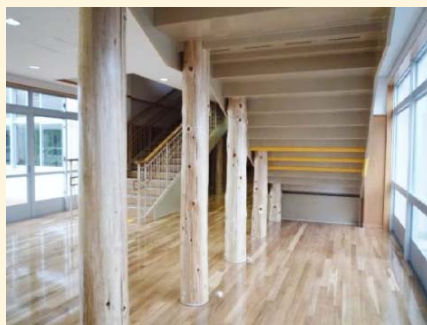
内装整備

庁舎・学校・
幼稚園・保育園
など

かながわ県産木材は
色々な建築物に使われています。



県立高等学校
（相模原市）



開成南小学校
（開成町）



松風幼稚園
（平塚市）



南毛利中学校
（厚木市）



キンダーガーデンやまと
（大和市）



横浜市南区総合庁舎
（横浜市）

かながわ県産木材を使った木造

事例 1 片瀬江ノ島駅



Data File

- 所在地
藤沢市片瀬海岸
- 延床面積
945.64㎡
- 使った木の種類
スギ、ヒノキ
(神奈川県産)、
ヒバ (外国産)
- 木材使用量
全体21.30㎡
うち県産材14.87㎡
(使用率70%)

事例 2 三井アウトレットパーク 横浜ベイサイド



Data File

- 所在地
横浜市金沢区
- 延床面積
ベビーラウンジ
118.84㎡
- 使った木の種類
ヒノキ、クスノキ
(神奈川県産)
- 木材使用量
全体4.35㎡
うち県産材2.91㎡
(使用率67%)

の施設のご紹介（平成30年度、令和元年度）

事例 3

金田東老人憩の家・金田児童館



Data File

- 所在地
厚木市金田
- 延床面積
407.86㎡
- 使った木の種類
スギ、ヒノキ
(神奈川県産)
タモ、ナラ
- 木材使用量
全体114.71㎡
うち県産材82.02㎡
(使用率71.50%)

事例 4

聖アンナの家



Data File

- 所在地
藤沢市みその台
- 延床面積
1465.89㎡
- 使った木の種類
スギ、ヒノキ
(神奈川県産)
- 木材使用量
全体353.97㎡
うち県産材195.89㎡
(使用率55%)

かながわ県産木材は、 こんなところにも使われています



鎌倉時代の仏教建築

鎌倉市にある円覚寺は、鎌倉最大級の寺院です。創建から約800年、何度も火災に見舞われて再建されました。

神奈川県産の木材がふんだんに使われた仏殿は、建立時の格式ある禅寺の姿を保っています。



歌舞伎座（丹沢産の木）

東京にある歌舞伎座の舞台には百年檜（ひゃくねんひのき）と呼ばれる立派な木材が使われていますが、その総数なんと1200本！

実はその百年檜、全部神奈川県産の丹沢の山から伐り出されたものなのです。



鎌倉彫り

鎌倉彫りとは、木材でお盆や容器などを作り、そこに文様を彫って、漆を塗って仕上げた工芸品です。

神奈川県産の鎌倉市およびその周辺地域で作られたものをいいます。

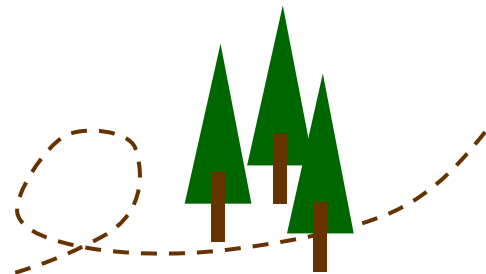


箱根細工

様々な木材を組んで色模様を作る技術です。代表的な作品は「秘密箱」で、江戸後期から作られています。

仕掛けを解除しないと、箱が開かないようになっています。

かながわ県産木材を 建物に使いたいときは？



どこで製造しているの？

かながわ県産木材品質認証制度

かながわ県産木材品質認証制度は、含水率・強度などの一定の基準を満たした県産木材を品質認証材（かながわブランド県産木材）として供給することで、品質の明らかな県産木材を普及させ、さらなる県産木材の消費拡大を図ることを目的に創設されました。



かながわブランド県産木材は「かながわブランド県産木材品質認証製材工場」にて製材されています。製材工場名簿は右のQRコードのページに掲載されています。

木を使おう→かながわブランド
県産木材品質認証製材工場（品質認証製品生産者）
名簿とお進みください。



どこで手に入るの？

神奈川県木材業協同組合連合会

かながわブランド県産木材をお求めの際は、神奈川県木連（TEL：045-261-3731）までお問合せください。

神奈川県は県土面積の4割が森林です。木の育ちのよい豊かな森林にしていくためには間伐などの手入れが重要です。

間伐とは、過密になった林を適切な生育状況にするため伐採する作業のこと。間伐が行われないと林の中が暗くなり下草が生えなくなって土壌が流出してしまいます。



間伐材をはじめ、かながわの木を使うことが、森林の手入れを進め森林を守り育てることにつながります。

ぜひ、「かながわ県産木材」を積極的に活用していただきますようよろしくお願いいたします。

かながわ県産木材を使うと、 神奈川県の森林も豊かになる。



住む人の心にしみる木の香り



神奈川県木材業協同組合連合会

神奈川県木連

〒231-0033

神奈川県横浜市中区長者町9丁目149番 神奈川県木材会館

電話：045-261-3731 ファックス：045-251-4891

ホームページ：<https://kenmokuren.com/>